

今回は、8月に開催される「金沢アカペラ・タウン2010」をお知らせ致します。

来る8月21日（土）に開催される「金沢アカペラ・タウン」は、金沢では初めての催しです。

「すべての人にアカペラを」をテーマに、日本全国から総勢約400名のアカペラグループが集まり、金沢のまちなかをステージとして、終日、様々なところでアカペラを聴かせてくれるイベントです。

http://www.kanazawa-kankoukyoukai.gr.jp/feature_acappella2010/

創造都市・金沢は、江戸時代に「金沢素囃子」という邦楽や舞踊の一部の楽器だけで演奏する非常に特色のある伝統芸能や「加賀宝生」という能楽が生まれ、今の時代にもそれらが息づいているまちです。

かつては、「空から謡が降ってくる」といわれるほど、大工や庭木職人が自然に口ずさむなど、能楽が大衆に広く浸透していましたが、この一日は、金沢の歴史的なまちなみに、アカペラのハーモニーが響きわたる一日となります。

創造都市・金沢は、これまでも「オーケストラ・アンサンブル金沢」の活動や、フランス・ナント市との提携による「ラ・フォル・ジュルネ」、昨年から「金沢ジャズストリート」の開催など、音楽に大変力を入れています。これらの音楽イベントはまちを活性化して、市民や観光客に多様な文化に親しむ貴重な機会を提供しています。

これからも、地域に根付く伝統的な文化芸術活動を大切にしながら、アカペラ・タウンのような新しい取り組みで、文化を刺激し、市民の生活を豊かに暮らしの質を高めていく取り組みを推進していきたいと思えます。

それでは、皆様ますますご健勝にてご活躍されることを願って、日本国金沢市創造都市推進担当より

(金沢素囃子)

